

2018 年駿河台番組発表会 会計総括

会計は駿河台番組発表会における費用の管理・運営担当である。主な業務内容としては予算案・会計明細・決算表の作成、各パート長からの領収書の収集・管理であった。以下、2018 年駿河台番組発表会会計総括を記載する。

予算運用

今年の駿河台番組発表会も例年通り執行部から 150,000 円の予算をいただいた。3 月末にパ長会議にお邪魔して、パ長と相談して各パートの予算を決めた。パート長の皆さんの協力のおかげでスムーズに予算を決めることができ、また予備費として 38,000 円を確保することができた。パ長の皆さんご協力ありがとうございました。

予備費

予備費は緊急事態が起こった際に使用するものとして、予算とは別に 38,000 円確保しておいた。しかし今年の駿河台番組発表会では特に緊急事態が発生することなく予備費を使うことはなかった。

領収書

領収書の発行をパート内で徹底してもらったおかげで、発行のし忘れが一つもなく差額が生じなかったことはとてもありがたかった。しかし、領収書の記入に不備がなかったのは美術パートのみで、他のパートは領収書の裏に何も書いていないものばかりであった。単価や個数、用途などが書いていないと会計明細を作成するうえでとても困った。記入方法は 3 月末の総会やパ長会議でも説明していたしパ長 LINE にもはっていたので、このようなことになってしまったのは残念。しかしパ長 LINE での周知をあまりしていなかった会計担当の責任である。申し訳ないです。

決算

各パート長が工夫してくれたおかげでなんとか全パート予算内に収まったが制作パートには多すぎて、逆に技術パートと美術パートは少なかった気がする。今年は構進で使う小道具の大半を美術が負担してくれたりと例年とは違ったことがあったのでそこがはっきりしていればよかった。技術パートは結構交通費がかかるので来年からはもっとあげてもいいのでは。

今年は割と特に大道具・小道具などでお金をたくさん使ったので執行部からいただく額 15,000 円はちょうどよかった気がする。

終わりに

上でも触れたが今年の駿河台番組発表会の会計においては領収書の必須事項の記入不備が目立ったことが残念だった。総会、パ長会議、パ長 LINE で伝えていたので大丈夫だろうと思いほっておいてしまい周知が足りなかったと反省している。LINE での周知の回数を増やす、パ長 LINE だけでなく 70 代 LINE のノートにも記入方法をはるといったことをすればよかった。来年からも気を付けてほしい。

予算をパート長に渡してからは番発が終わるまで仕事はないので忙しいのはここ 2 日くらいだったが領収書の件以外では、なんとか無事スムーズに会計の仕事を終えることができてよかった。協力してくれたみなさんありがとうございました。

文責：大部美来

2018 年駿河台番組発表会 決算

単位：円

収入

番組費

合計 15,000

支出

構成進行パート

衣装費	9,438
文具費	1,436
家具費	648
小計	11,522

技術パート

交通費	7,798
印刷費	7,000
機材費	15
小計	14,813

制作パート

番組制作費	2,149
小計	2,149

美術パート

会場装飾費	5,082
衣装費	1,650
文具費	1,149
家具費	10,087
通信費	8,874
接待費	4,713
印刷費	5,420
小計	36,975

企画パート

衣装費	9,007
企画費	22,653
小計	31,660

合計 97,119

残高 52,881